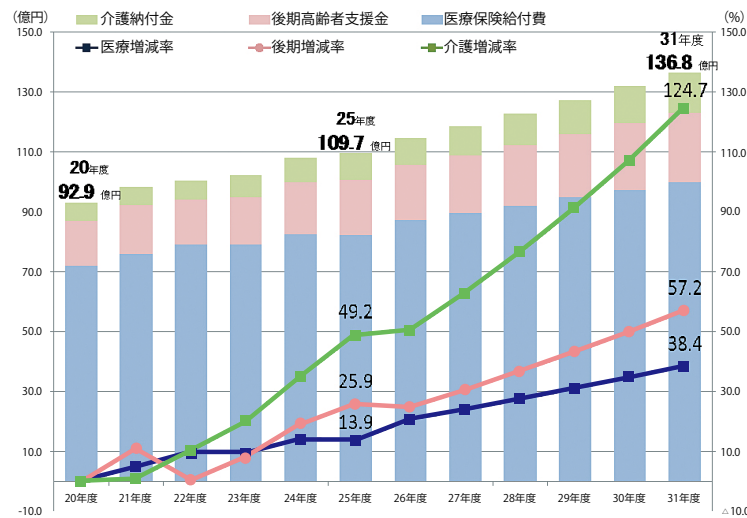


浦添市国保の保険給付費等推移と将来推計

本市が運営する国保は、高齢者や低所得者層の加入割合が高く、一人当たりの保険給付費が高いなどの構造的な問題を抱えています。

保険給付費等の支出は年々増加し続け、平成20年度の92.9億円から平成25年度は109.7億円、さらに平成31年度推計では136.8億円が見込まれています。

保険給付費等に伴う支出の伸び率を見ると、平成31年度推計で介護納付金124.7%増、後期高齢者支援金57.2%増と著しい増加が見込まれます。

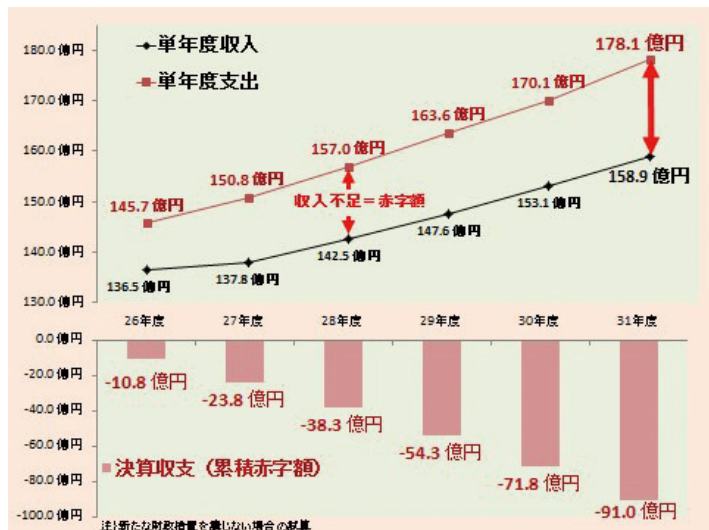


注1. 保険給付費等の全額は、保険給付費、後期高齢者支援金および介護納付金の合計額
 注2. 1人当たりの保険給付費および税負担額の伸び率は、平成20年度に対する伸び率

浦添市国保特別会計の将来収支見通し

国保特別会計の原則は独立採算で財政運営を行うことになっていますが、本市の厳しい国保特別会計では歳入不足の補てんを目的とした一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない財政状況にあります。平成25年度においては約7億3,000万円の繰り入れを行いました。平成31年度推計では、収入不足額は19億2,000万円と増加し、累積赤字額は91億円と見込まれます。

このような厳しい状況のなか、これまでの財政健全化対策のみで、累積赤字見込額の解消を図ることは、大変難しいものと考えています。



注1. 新たな財政措置を講じない場合の試算

国保を守るために、皆さんにお願いしたいこと

★忘れずに国保税を納めましょう

国保税は国保運営に欠かせない貴重な財源です。納付についてのご理解とご協力をお願いします。

★年に1度は特定健診を受診しましょう

本市ではメタボリックシンドロームを原因とする高血圧症や糖尿病などの生活習慣病の予防を目的に特定健診を実施しています。また、健診結果から必要に応じて保健指導を行い、健康づくりのサポートもしています。自分自身の健康のため、年1回の健診を受けましょう。生活習慣病の早期発見や重症化を防ぐことで、医療費負担の軽減にもつながります。

★医療費の節約方法

同じ病気で複数の医療機関を受診することは控えましょう。医療費を増やしてしまうだけでなく、重複する投薬により体に悪影響を与える心配もあります。受けている治療に不安があるときは、そのことを医師に伝えて話し合ってみましょう。

★ジェネリック医薬品の利用

ジェネリック医薬品はこれまで使われてきた新薬の特許が切れた後に、同等の品質で製造販売される低価格の薬です。ジェネリック医薬品の選択は、自己負担の軽減だけでなく医療費全体の抑制にもつながります。

浦添市の国保財政は危機的状況です

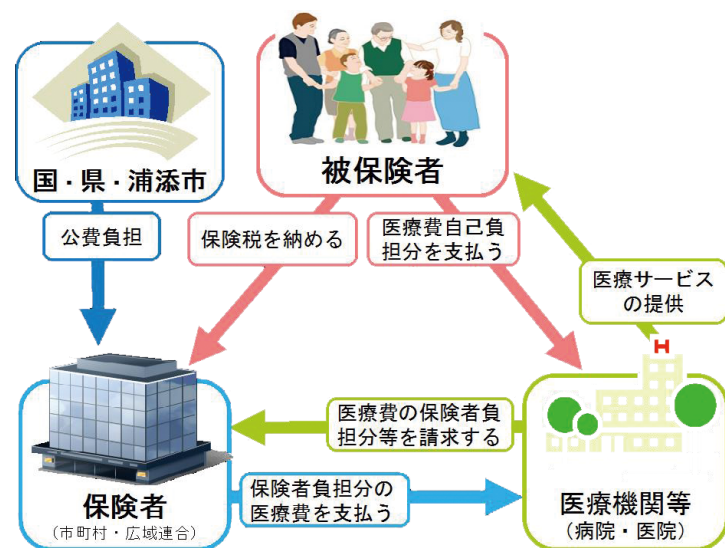
問い合わせ 国民健康保険課 ☎876-1234(内線3711～3725)

近年、浦添市の国保財政状況は悪化しています。危機的状況である今こそ、財政健全化に向けてしっかりと取り組む必要があります。

国民健康保険制度とは

国民健康保険（国保）制度は、病気やけがのときに安心して医療が受けられるように、被保険者が国保税を出し合い、必要な医療費に充てて相互に助け合う社会保障制度です。

国保を運営しているのは浦添市で、これを「保険者」といい、国保加入者を「被保険者」といいます。国保運営は国保加入者が納めた国保税収入のほか、国や県および市の負担金等、補助金や各種共済組合、健康保険組合などからの交付金を財源としています。



国民健康保険税のしくみ

国保税の課税は次の3つに区分されます。

■医療給付分

国保加入者全員に課されるもので、国保加入者の医療費に充てられるものです。病院窓口での自己負担分は除きます。

■後期高齢者支援金分

国保加入者全員に課されるもので、若い世代（国保加

■介護納付金分

国保加入者のうち40歳～64歳までの加入者（介護保険第2号被保険者）に課されるもので、介護保険制度に対する納付金に充てられるものです。

入者）が高齢者（後期高齢者医療制度加入者）の医療費を支えるための支援金です。

